

Vol. 171号

Colony Tokyo

# コロニーとうきょう

2021(令和3)年  
7月1日発行

社会福祉法人 東京コロニー  
〒165-0023  
東京都中野区江原町 2-6-7  
TEL 03-3952-6166  
FAX 03-3952-6664  
<https://www.tocolo.or.jp/>  
(法人本部 事務局)



アートビリティギャラリー 46 カミジヨウ ミカさん 『タイヨウに住む宇宙人』(詳しくは29頁をご覧ください。)

## 時評

2021(令和3)年度事業計画

法人の主な動きから

2020(令和2)年度事業報告

法人本部・コロニー中野・トーコロ生活支援センター・アートビリティ(〒165-0023 中野区江原町2-6-7)・中野区仲町就労支援事業所(〒164-0011 中野区中央3-19-1)・コロニーもみやま支援センター(〒164-0001 中野区中野5-3-32)・トーコロ情報処理センター 事業部・職能開発室・デジタルメディアセンター(〒170-0005 豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル6F)・東京都葛飾福祉工場(〒125-0042 葛飾区金町2-8-20)・立石工場(〒124-0012 葛飾区立石8-50-1)・コロニー東村山(〒189-0001 東村山市秋津町2-22-9)・東村山市障害者就労支援室(〒189-0014 東村山市本町1-1-1)・東京都大田福祉工場(〒143-0015 大田区大森西2-22-26)・トーコロ青葉ワークセンター・トーコロあおば就労サポートセンター(〒189-0002 東村山市青葉町2-39-10)・国分寺戸倉寮(〒185-0003 国分寺市戸倉1-21-9)・東久留米第一氷川台寮・東久留米第二氷川台寮(〒203-0004 東久留米市氷川台2-31-22)・東久留米第三氷川台寮(〒203-0002 東久留米市神宝町2-14-26)・えはらハイツⅠ、Ⅱ、Ⅲ・中野江原短期入所・中野区日中一時支援(〒165-0023 中野区江原町3-23-2)・とよたまハイム(〒176-0014 練馬区豊玉南2-3-9)・こあらハイツ(〒202-0013 西東京市中町3-10-9)・あおばハウスⅠ、Ⅱ(〒189-0002 東村山市青葉町3-2-2)

# 時評

## コロナ禍の中で

理事長 中村 敏彦

### はじめに

2020年度は、新型コロナウイルスへの対応に追われた1年といっても過言ではありません。変異した株は現在もお感染拡大と縮小を繰り返しています。海外ではワクチン接種により活動制限が徐々に緩和されているとの報道もあり、わが国でもワクチンの接種が始まっています。1日も早く日常に戻れるよう期待したいと思います。

約1年と半年の間、新たな生活様式への変化を求められています。あまりにも長期にわたる自粛生活は、様々な分野に大きな影響を与えています。東京オリンピック・パラリンピックは、現時点では概ね開催される見込みです。諸外国への感染拡大のリスクを伴うことや各地で医療崩壊が叫ばれる中、開催するために相当数の医療従事者を確保しなければならぬことは、国民の理解を得にくいでしょう。一方で、この大会に出場することを目標に、懸命に努力してきたアスリートや関係者たちの思いを考えると、安易に賛成・反対を述べることはできないと思います。

いずれにしても、総力を挙げて感染拡大を食い止め、乗り越えていくかなさそうです。

### コロナ禍の中の経営実態

5月25日現在、帝国データバンク調査では、新型コロナウイルス関連産産が1,488件と発表されています。また、解雇や雇い止めの累計は10万人を突破したとの報道もあります。コロナ禍の中、障害のある人たちの生活にどのような影響を与えているのでしょうか。外出やイベントの自粛などで商品が販売できず、企業などからの仕事の受注も減っているため、障害者の働く施設の多くが経営難に苦しんでいると、複数のメディアで報道されています。

当法人の就労支援活動（売上高）においても、他の障害者支援団体等と同様に激減しています。事業報告、決算の概要は後掲しますの

で、ここでは部分的に視点を当てて、2019年度と2020年度を比較した、私なりの見立てで評価してみたいと思います。

当法人事業には障害者総合支援法に基づく事業のほか、公費の対象とならないIT関連事業として公益事業があります。したがって、これから記述する内容は法人本部を除く法人合算の実績となります。

まず、内部取引を消去した各就労支援事業（売上高）の合計です。前年度と比較して2億3千3百万円にも上る減少がみられました。しかも、拠点によって多寡はあるものの就労活動を実施している全事業所で減少するという深刻な状況となりました。

障害福祉サービス事業収益では、感染リスクを抑えるために、利用制限や時間短縮などを実施しつつも、ほぼ前年度並みで58万円の微増となっています。各拠点で感染予防対策に全力で取り組み、可能な限り通所における支援を継続することや、

年度	収益
2019年度	1,178,301
2020年度	1,178,880
増減	579

年度	収益
2019年度	5,111,927
2020年度	4,879,093
増減	△ 232,834

通所が困難な場合にも個別に対応し、在宅支援に切り替えるなどを実施した結果といえるでしょう。

企業等への就労移行者は、56名で11名の減少となりました。コロナ禍による就職難も影響しているのではないのでしょうか。

次に就労継続支援A型事業の月額平均賃金をみてみましょう。当法人では4事業所で実施しており、従業員就業規則を全面適用させています。雇用調整助成金なども活用しながら対応しましたが、残念ながら全体平均で971円の減少となりました。

一方、就労継続支援B型事業は8事業所で実施しており、月額平均賃金は、270円増加しました。売上減少に伴い確実に実作業も減っているのですが、各拠点では、実作業が伴わなくても一定の工賃保障を行った結果であり、何よりも、コロナに不安を抱えながら

年度	賃金
2019年度	24,959
2020年度	25,229
増減	270

年度	賃金
2019年度	278,385
2020年度	277,414
増減	△ 971

年度	人数
2019年度	67
2020年度	56
増減	△ 11

も、本人が努力して通われた結果だ  
 と思います。

就労移行支援事業の月額平均工賃  
 は698円の減少  
 となりました。公  
 園清掃などの受託  
 事業の一時停止  
 や、イベントなど  
 の中止あるいは自  
 粛によって販路が  
 少なくなったこと  
 が要因と考えられます。

就労移行月額平均工賃 (単位：円)	
2019年度	28,849
2020年度	28,151
増減	△698

法人全体の在籍  
 者数は、障害の  
 ある人が9名増員  
 し、障害のない人  
 が8名の減員とな  
 りました。残念な  
 事ではあります  
 が、感染リスクに  
 耐えられず退職さ  
 れた方もいます。  
 報道にもあるよう  
 に、医療従事者と  
 同様過酷な現場に  
 なっていることも  
 否めません。

障害のある在籍者数 (単位：人)	
2019年度	614
2020年度	623
増減	9

障害のない在籍者数 (単位：人)	
2019年度	280
2020年度	272
増減	△8

以上、前年度と  
 比較した経営実態を紹介させてい  
 だきました。活動が制限される厳し  
 い条件の中、よく支えていただいた  
 と思います。

次に、少し視点を変えて、社会福  
 祉法人の経営指標から抜粋して経営  
 判断してみたいと思います。

収益性 経常増減差額率	
2019年度	2.1
2020年度	3.3
増減	1.2

短期安定性 流動比率	
2019年度	244.6
2020年度	256.3
増減	11.7

長期持続性 純資産比率	
2019年度	73.4
2020年度	74.1
増減	0.7

長期持続性 固定長期適合率	
2019年度	68.2
2020年度	66.7
増減	△1.5

一つは経常増減差額率を指標とし  
 た収益性です。この指標は、事業活  
 動計算書の経常増減差額をサービ  
 ス活動収益計で割り100(%)を乗  
 じた数字で判断するもので、本指標  
 の値がマイナスとなる場合、将来的  
 な財務状況の悪化につながることに  
 よって法人経営の安定性を損なうお  
 それがあるとされています。当法人  
 はプラスであり、1.2ポイント上昇し  
 ています。

二つは流動比率を指標とした短  
 期安定性です。この指標は貸借対  
 照表の流動資産を流動負債で割り、  
 100(%)を乗じた数字で判断し、  
 短期的な支払い能力を判定する観点  
 から一般的には200%以上が望ま  
 しいとされています。当法人は基準  
 値を超えており11・7ポイント上昇  
 しています。

三つは純資産比率を指標にした長  
 期持続性の判断です。この指標は、  
 貸借対照表の純資産を総資産で割り、  
 100(%)を  
 乗じた数字で判  
 断します。借入  
 金など負債に対  
 する安全性をみ  
 る指標で、値が  
 高いほど長期持  
 続性が高いこと  
 を意味します。

当法人の70%台が安心できる値な  
 か不安はありますが、0.7ポイント上  
 昇しています。

最後に長期持続性を判断するもう  
 一つの固定長期適合率という指標で  
 みてみます。これは、固定資産を純  
 資産と固定負債を足した数字で割り、  
 100(%)を乗じて求めるもので、  
 固定資産の整備に関わる資金調達の  
 バランスを示す指標であり、値が低  
 いほど長期持続性が高く、100%  
 以下であることが目安と言われてい  
 ます。当法人は基準値以下であり、  
 さらに15ポイント下げることができ  
 ています。

2020年度の経営実態には、も  
 う一つ特筆すべき点があります。コ  
 ロナ禍の影響に対する国や地方自治  
 体からの助成です。支援内容の充実  
 や雇用の継続、安定した事業運営に

強力な一助となりました。  
 改めて、社会福祉法人としての責  
 任を重く受け止め、障害のある人た  
 ちのために何ができるか思慮し、社  
 会資源として期待に沿えるよう益々  
 努力しなくてはと思います。

まとめに

新型コロナウイルスへの感染予防  
 対応に翻弄される中、本年度4月か  
 ら報酬改定を伴った障害者総合支援  
 法が見直されました。とりわけ重  
 度化・高齢化を踏まえた内容になっ  
 ており、地域移行・地域生活の支援、  
 質の高い相談支援を提供することを  
 基本として、これまで以上に実績評  
 価を色濃くしています。

社会福祉法人の事業は、褒められ  
 ることの少ない、やって当たり前と  
 評価されがちです。しかし、法人の  
 在籍者ならびに関係者の皆様には、  
 この事業に真摯に向き合われている  
 ことに自信と誇りを持ち、胸を張っ  
 ていただきたいと思います。

当法人は、1951(昭和26)年  
 に事業を開始して今年で70年の節目  
 を迎えます。自粛した内容にはなり  
 ませんが、感謝の意を伝えられるよう  
 企画しています。まずは、多くの企  
 業や支援団体、地域の皆様に支えて  
 いただいていることに、改めて感謝  
 申し上げます。

# 2021 (令和3) 年度 事業計画

## 1. はじめに

前年度は、新型コロナウイルス感染症に向き合い続けた1年でありました。法人内では適宜情報を共有しながら、とりわけ感染予防には全力を尽くしました。世界規模で拡大したコロナ禍は現在もお収束の見込みは立っておらず、国内の経済情勢にも大きな影響を与え、当法人の就労支援活動では各事業所ともに厳しい状況が続いています。本年度の事業運営は、当面はこの状況が続くことを想定して、引き続き緊張感をもって取り組むこととします。

本年度は、2014年にわが国が国連障害者権利条約を批准してから7年目となります。昨年予定されていた国連権利委員会によるわが国の審査は、今年8月(予定)に延期されました。近年に発生した、歪んだ障害者観がもたらす優生思想による殺傷事件、旧優生保護法による強制不妊手術裁判、公的機関による障害者雇用増し問題などの深刻な状況に對して、的確な総括所見・勧告が示され、わが国の障害者施策の改善につながるよう期待したいと思います。

## 2018年度に施行された報酬改

定は体制評価から実績評価に舵が切られました。本年度4月より、さらに実績評価を重視した新たな報酬改定が施行される予定です。基準単価の見直しとともに、①重度化・高齢化を踏まえた地域移行・地域生活の支援ならびに質の高い相談支援の提供、②効果的な就労支援や障害児者のニーズを踏まえたきめ細やかな対応、③医療的ケア児への支援などの障害児支援の推進、④精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの推進、⑤感染症や災害への対応力の強化等、⑥持続可能性の確保と適切なサービス提供を行うための見直しなど、基本的な方向性が示されていますが、引き続き支援の質の向上を目指します。

本年度は法人創立70周年を迎えます。記念行事はコロナ禍を考慮して実施せず、感謝の気持ちをお伝えできるといった内容で準備を進めています。また、1年延期した次期中期事業計画(5カ年計画)の策定についても、基準年度の見直しを含め、今後の状況を踏まえて慎重に検討してい

きます。当法人は、厳しい社会環境

の中であっても法人全体で支え合い、事業所のあるそれぞれの地域で、あるいは他の関係団体等と協力・連携して事業を継続してきました。本年度は、コロナ禍の影響を想定せざるを得ませんが、多様化する利用者の要望に応えられるよう努力するとともに、就労支援事業の安定を目指すことを事業計画の柱とします。

## 2. 事業方針と予算の特徴

本年度の事業方針は次のとおりです。コロナ禍の中であっても拠点間で情報を共有し、協力・連携して様々な課題に対応していきます。

### (1) 経営の基本方針

- ・ 経営理念や倫理、社会的役割に伴うコンプライアンスやガバナンスを重んじた法人運営に継続して取り組みます。

- ・ 福祉サービスの質的向上のために、第三者サービス評価機関の審査を受けるとともに、苦情解決第三者委員制度の設置や広報誌やホームページ等による情報開示に取り組

みます。

・法改正や業務改善などに伴う法人の規程等を必要に応じて見直しします。

(2)財務・資金管理

・会計顧問の指導を受けながら、会計基準により精度の高い管理に努め、さらに外部会計監査人の指導を会計管理に反映させます。

・財務や資金管理について、法人本部は全体を把握し拠点間の窓口となって調整に努め、外部からの借入金については、可能な範囲で内部の資金活用を検討します。

(3)事業の継続

・引き続き、感染予防対策には徹底して取り組むこととします。

・常に経営改善に視点を置き、継続可能な事業への体質改善を図ります。

・将来必要となる資金等も想定して事業運営に取り組みます。また、BCP（事業継続計画）を全拠点で策定します。

(4)人材確保・育成

・継続的に求人広告を掲載して人材確保に努め、経営や福祉の専門性

を向上することを目的とした教育、

研修を計画的に実施して人材育成に取り組みます。また、人事考課制度を活用して風通しの良い職場環境づくりに努め、一人ひとりの活躍の場を充実させます。

(5)他の団体との協力連携

・障害者福祉の向上のために、各庁ならびに、東京都、各区市自治体、全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、一般社団法人ゼンコロ、特定非営利活動法人日本障害者協議会、全国社会就労センター、日本セルフセンター、東京都セルフセンターなどにおいて積極的に役割を果たします。また、従業員等が、対外的な立場において十分に役割発揮ができるように、可能な限り配慮し支援します。

(6)地域活動

・拠点ごとの地域活動においては、各自治体との連携を深め情報交換を密にしなが、地域福祉の向上ならびにニーズに応じた障害者福祉の充実に努めます。また、地域の福祉関連ネットワークには積極的に参画し、重要な社会資源にな

り得ることを目指します。

3. 各事業本部の計画概要

拠点が所属する地域の期待に応えていくため、既存事業の安定経営ならびに福祉の専門性の向上を目指し、必要に応じて新たな事業も検討します。また、すべての拠点で、一人ひとりがやりがいを持ち成長できるような職場環境づくりに努力します。

(1)法人本部（事務局）

法人全体および各事業所が抱える諸課題への対応、事業運営における改善などにおいて役割を果たします。年間の教育研修計画や、法人全体の財務運用ならびに各拠点の事業運営に貢献し、総務・事務部門の連携により的確な情報提供・共有に努めます。プライバシーマークの認証取得

法人として、その維持・向上に取り組みます。また各種会議や委員会、事務局を務め、事業所と連携して適宜、必要な情報集約、提供に努めます。コロナーもみじやま支援センター内の医療連携については、開設以来の課題となっていました。が、医

療機関と法人本部との賃貸契約による収益事業として開始する予定です。

(2)福祉事業本部（グループホーム等、トータル生活支援センター）

地域生活を支援する事業として、特定相談支援事業、グループホーム、短期入所、居宅介護事業等を運営します。既存事業の体制を整え強化する年度とし、新規事業は予定しないこととします。東京都のグループホーム制度に基づき、事業所ごとに管理者を配置する専任体制に改めます。個々の利用者のニーズに応じて支援し、事業運営の安定と支援の質の向上に努めます。日中活動支援事業所と連携し、各々の地域のニーズに可能な限り応えていきます。

(3)IT事業本部（トータル情報処理センター（事業部、職能開発室、デジタルメディアセンター）

事業本部全体でさらに連携強化を図り、法人内ではICT（情報処理および情報通信）技術等を介して法人内各事業所に関わり、ネットワーク委員会などをつうじて横断的に役割を果たします。事業部では、自治体からの受託事業の減少も併い厳し

い状況が続くことが見込まれます。法人事業全体を意識した営業活動に努め、他の事業所と連携して仕事を確保し、障害者雇用に一層努力していきます。デジタルメディアセンターでは、サービスと品質向上を目指し、高度な専門性により顧客指向に努めます。また、関連業務を含めたトータル事業として、既存顧客の深耕ならびに新規顧客を獲得します。職能開発室では、この先の社会変容を見据え、リモート活動等による障害者の働き方の多様化に対応するために、ICT活用による社会参加を普遍化すべく活動します。また、民間の職業紹介事業者としての役割や、受託事業である東京都障害者IT地域支援センターの事業を継続します。

(4) 社会就労事業本部（コロナ中野、中野区仲町就労支援事業所、コロナもみじやま支援センター、コロナ東村山、トーコロ青葉ワークセンター）

社会就労事業本部では、利用者の高齢化・重度化を視野に、多様化する要望に応えられるよう事業運営に努めます。コロナ中野では、企業

のテレワーク導入等により外部販売収益が減少するなど飲食事業への影響は続いていますが、今だからこそ取り組める事業を模索していきます。中野区仲町就労支援事業所は3回目の指定管理事業者として、中野区障害福祉計画に沿って魅力的な運営を目指します。コロナもみじやま支援センターでは、中野区の地域防災計画に基づいた二次避難所として機能を果たせるよう準備します。コロナ東村山では、引き続き印刷事業を基軸に紙媒体のデータ化などの事業にも積極的に取り組みます。トーコロ青葉ワークセンターでは、工賃を伴う生活介護事業を早々に開始し、引き続き、放課後等デイサービス事業等において役割を果たします。また、東村山市内の拠点では、地域生活支援拠点として東村山市と協定を結び、地域との連携を深めます。

(5) 福祉工場事業本部（東京都葛飾福祉工場、東京都大田福祉工場）

東京都葛飾福祉工場は、国内最初

の身体障害者福祉工場として誕生から50年目の節目となります。改めて、障害者の自立支援、就労支援を利用

者の立場に立ち、利用者一人ひとりが満足できるような利用目的に沿った支援を目指します。老朽化に伴う立石工場棟の移転建替えについては、本年度夏頃を目途に基本設計等を行い、東京都と協議を進めていきます。

東京都大田福祉工場は、コロナ禍により基幹の印刷事業で大きな影響を受けましたが、「障害者優先調達推進法」を活用して販売活動の再構築に努めます。二期工事にあたる駐車場等の外構工事は6月には竣工できる見込みです。障害福祉サービス事業は、困難な課題を抱え行き場のない人々も視野に入れ、利用者が抱える様々なニーズや課題に応えるためにも一層の支援力の充実を図るととします。



## 資金収支当初予算

2021年 4月 1日

(単位：円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	5,112,578,000	4,901,223,000	-211,355,000
	障害福祉サービス等事業収入	1,249,098,341	1,264,091,160	14,992,819
	その他の事業収入	264,272,990	243,362,365	-20,910,625
	借入金利息補助金収入	149,000	52,000	-97,000
	経常経費寄附金収入	8,886,000	8,288,000	-598,000
	受取利息配当金収入	1,610,360	1,219,240	-391,120
	その他の収入	38,789,492	36,998,127	-1,791,365
	事業活動収入計(1)	6,675,384,183	6,455,233,892	-220,150,291
	支出			
人件費支出	921,910,857	935,411,900	13,501,043	
事業費支出	107,744,600	103,421,500	-4,323,100	
事務費支出	237,626,000	231,819,560	-5,806,440	
就労支援事業支出	4,917,703,766	4,784,425,000	-133,278,766	
その他の支出	216,774,461	198,762,065	-18,012,396	
利用者負担軽減額	7,462,040	8,180,000	717,960	
支払利息支出	6,766,652	6,622,210	-144,442	
その他の支出	5,857,000	5,888,000	31,000	
事業活動支出計(2)	6,421,845,376	6,274,530,235	-147,315,141	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	253,538,807	180,703,657	-72,835,150	
施設整備等による収支	収入			
	その他の施設整備等による収入	150,000	24,000	-126,000
	施設整備等収入計(4)	150,000	24,000	-126,000
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	35,196,000	34,736,000	-460,000
固定資産取得支出	146,002,000	142,520,000	-3,482,000	
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,184,000	325,000	-1,859,000	
その他の施設整備等による支出	8,326,180	6,166,650	-2,159,530	
施設整備等支出計(5)	191,708,180	183,747,650	-7,960,530	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-191,558,180	-183,723,650	7,834,530	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	102,756,000	134,000,000	31,244,000
	事業区分間長期借入金収入		20,000,000	20,000,000
	拠点区分間長期貸付金回収収入	22,000,000	15,440,595	-6,559,405
	事業区分間繰入金収入	5,450,000	7,648,980	2,198,980
	拠点区分間繰入金収入	66,310,000	63,809,405	-2,500,595
	その他の活動による収入計(7)	196,516,000	240,898,980	44,382,980
	支出			
	積立資産支出	45,468,678	40,740,000	-4,728,678
	事業区分間長期貸付金支出		20,000,000	20,000,000
拠点区分間長期借入金返済支出	22,000,000	15,440,595	-6,559,405	
事業区分間繰入金支出	5,450,000	7,648,980	2,198,980	
拠点区分間繰入金支出	66,310,000	63,809,405	-2,500,595	
その他の活動による支出	2,647,000	9,411,000	6,764,000	
その他の活動支出計(8)	141,875,678	157,049,980	15,174,302	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	54,640,322	83,849,000	29,208,678	
予備費支出(10)	116,620,949	90,829,007	-25,791,942	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-10,000,000	-10,000,000	
前期末支払資金残高(12)	2,524,500,372	2,524,500,372		
当期末支払資金残高(11)+(12)	2,524,500,372	2,514,500,372	-10,000,000	



組織運営表 (2021年7月1日現在)

事業所		事業所番号	責任者
法人本部			理事長 中村 敏彦 常務理事 鬼頭 克介
法人事務局			事務局長 星 忍 (担当理事) 本部長 加藤留美子
福祉事業本部	障害福祉サービス事業 (居宅介護等) (老人居宅介護等) トーコロ生活支援センター (グループホーム)	1311400046 1371402775	事業所長 加藤留美子*
	東久留米第二氷川台寮	1324500048	
	中野第二江原寮	1321400119	
	青葉町グループホーム	1323600971	
	(短期入所) 中野江原短期入所	1311400848	
	(特定相談支援) 中野障害者計画相談支援室「ころまっぷ」	1331401347	
	事務局		
IT事業本部	(公益事業) トーコロ情報処理センターデジタルメディアセンター		事業所長 坂田 利胤
	(公益事業) トーコロ情報処理センター事業部		事業所長 柴田実千代
	(公益事業) トーコロ情報処理センター職能開発室		事業所長 堀込真理子
			(担当理事) 本部長 今西 康二
社会就労事業本部	障害福祉サービス事業 (就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、生活介護) コロニー中野	1311400715	事業所長 近藤 章夫*
	障害福祉サービス事業 (就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型) コロニー東村山 障害福祉サービス事業 (就労定着支援) コロニー東村山 就労定着支援室 (特定相談支援) コロニー障害者計画相談支援室「ふきのとう」	1313600346 1313600916 1333600631	事業所長 坂本 崇*
	東村山市障害者就労支援室 (アートビリティ)		(大野 宏) 代表 高橋 宏和
	障害福祉サービス事業 (就労移行支援、就労継続支援B型、生活介護) トーコロ青葉ワークセンター 障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス) トーコロあおば就労サポートセンター「アリーバ」	1313600320 1352700148	事業所長 六川 洋*
	障害福祉サービス事業 (就労移行支援、就労継続支援B型) 中野区仲町就労支援事業所	1311401085	事業所長 井上 忠幸*
	障害福祉サービス事業 (就労移行支援、就労継続支援B型、生活介護) コロニーもみじやま支援センター	1311401820	事業所長 今西 康二*
	(短期入所) もみじやま短期入所	1311401812	
	(特定相談支援) もみじやま障害者計画相談室	1331401792	
			(担当理事) 本部長 鬼頭 克介 副本部長 湯浅 克己
	福祉工場事業本部	障害福祉サービス事業 (就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型) 東京都葛飾福祉工場 (金町工場) (立石工場) (特定相談支援) 東京都葛飾福祉工場障害者計画相談支援室 (八潮配送センター)	1312201476 1332201878
障害福祉サービス事業 (就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型) 東京都大田福祉工場 障害福祉サービス事業 (就労定着支援) 東京都大田福祉工場 就労定着支援室		1311101735 1311103277	事業所長 湯浅 克己*

\*障害福祉サービスにおける管理者 ( )内は現業責任者

# 法人の主な動きから

## 理事・監事・評議員・ 苦情解決第三者委員の選任

2021年6月11日に開催された評議員選任・解任委員会および6月26日の第92回評議員会、第315回理事会において、任期満了にともなう理事・監事・評議員・苦情解決第三者委員の選任が行われましたので、ご報告いたします。

引き続き東京コロニーの事業に対するご理解とご支援をお願い申し上げます。

理事 中村 敏彦 (理事長)  
 理事 鬼頭 克介 (常務理事)  
 (IT事業本部長、福祉工場事業本部長、東京都葛飾福祉工場所長)  
 理事 加藤 留美子  
 (福祉事業本部長)

理事 今西 康二

(社会就労事業本部長、コロニーもみじやま支援センター所長)

理事 吉村 謙次

(東京都葛飾福祉工場副所長)

理事 湯浅 克己

(東京都大田福祉工場所長)

理事 星 忍

(事務局長)

監事 兼 苦情解決第三者委員

山根 伸右

(弁護士)

監事 神野 敏夫

(元当法人事務局長)

監事 富所 淳

(公認会計士・税理士)

評議員 兼 苦情解決第三者委員

朝日 雅也

(県立大学教授)

評議員 外川 勝久

(元設計コンサルタント会社理事)

評議員 兼 苦情解決第三者委員

湯田 正樹

(NPO法人副理事長)

評議員 富澤 みち子

(元法人事業所総務部長)

評議員 高橋 毅

(社会福祉法人常務理事)

評議員 松村 正一

(公認会計士・税理士)

評議員 橋本 弘

(社会福祉法人理事長)

評議員 國兼 康男

(大手商社CSR部門)

評議員 佐野 竜平

(私立大学准教授)

(敬称略・就任順)

## もみじやま支援センターで 収益事業開始

はじめに

2018年度に新設したコロニーもみじやま支援センター内に予定していた、障害者等も対象とした医療連携事業が、本年5月1日いよいよ開始されました。法人としては収益事業(賃貸借事業)の開始となります。当初想定していた内科、精神科等のクリニックは適当な事業者が見つからず、整骨院(整体業としての医療機関の資格あり)の事業者からの希望があり、その事業者の示す事業プランを検討したところ、当法人が目的とする高齢者も含めた障害者等、広く社会福祉に寄与する事業とすると内容に合致し、大いに期待できると判断し決定しました。

中野区からは、営利目的ではなく





広く区内の障害者・高齢者等の福祉に供する事業との了解も得て、契約書の文言の一部変更（療術業の追加）で了承いただきました。

法人としては、もみじやま支援センター内の医療機関予定スペースを、事業者へ賃貸借契約により貸付ける「収益事業」となり、必要な定款の変更も行いました。賃貸借契約による収益は、もみじやま支援センターをはじめとした法人の運営する社会福祉事業に充てさせていただくこととなります。

**利用者・従業員・区民の**

からだメンテナンス  
今回契約した事業者は、巣鴨駅付

近でマツサージ店を開業しており、その施設の確かさから都内各所で行うスポーツイベント会場等で、参加者向けにストレッチャやマツサージ等のブースを任せられるなど出張もしていました。コロナ禍でそうしたイベントも開催ができなくなりましたが、腕には自信があり一日も早い収束を願い準備を進めてきたようです。

事業者にとっては、巣鴨と併せてもみじやまにも店舗ができたわけですが、中野区内や近隣のお住まいの方にとって憩いの場となるよう、チラシを配ったりホームページを充実させていきます。若くて実力のあるスタッフがスタンバイしていますので、是非足を運んでみてください。

法人内の事業所でも、従業員の福利厚生の一環として、月一回事務所出張してもらいストレッチやマッサージでリフレッシュに役立てたり、生活介護を行う事業所では理学療法士（PT）の資格をもつスタッフと業務委託契約を結び、今年3月から利用者向けにリハビリマツサージの提供を受けたりしています。

一人ひとりの障害特性に合わせた無理のないリハビリプランの策定や実行も楽しく進めています。

事務局長 星 忍

**法人の新型コロナウイルス感染症対策について**

この一年余り、法人内各事業所では、できる限りの様々な感染防止対策を行ってきました。

事業所の看護師は、利用者・従業員の検温、体調確認などに奔走し、従業員も共用部の消毒作業や小まめな換気に努めました。

そのような中でも、利用者や従業員に風邪様症状が出た場合、どのように対処するかは非常に神経を使います。また、家族に風邪様症状が出た、家族が濃厚接触者になった、など徐々に様々なケースが始め、判断に迷うようになりました。

そこで、法人統一のマニュアルとして「新型コロナウイルス感染症（風邪様症状）対応手順書」を作成することにしました。これは日本産業衛生学会の「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド」の考え方をベースとし、嘱託医や看護師の



意見も聞きながらまとめたものです。たとえば、風邪様症状が出た場合は、検査結果が陰性であっても症状消失後72時間は出勤しないという考え方をとっています。その場合の休暇の扱いにも不公平が出ないように、所長会で議論を重ね基準を定めました。

そのほか啓発活動として「事業所内クラスターを発生させないために」と題したポスターを作成し、飛沫を「出さない」「吸わない」「漂わせない」を標語として、空気中に漂うウイルスをイメージしやすいようにイラストで表現しました。

これまでのところ、法人内でクラスターは発生していませんが、ワクチン接種が普及するまでは気を緩めることはできません。引き続き感染防止に努めてまいります。

企業様からご寄附や助成金を頂き、パーティションや加湿器なども設置させていただきました。あらためて感謝申し上げます。

事務局長 岩田真紀



# くすくすぴん

## T O P I C S

### コロニー中野

#### 大型清掃、始めました！

2021年4月より、コロニー中野から歩いて約10分のところにある中野区障害者福祉会館の清掃を請け負うことになりました。地下1階から3階までの作業室やトイレ、ロビーや廊下、階段などの共有スペース、そして建物の外周に至るまで、毎日朝8時から午後4時まで時間をかけて掃除しています。メンバーは就労継続支援B型の利用者さん10名と従業員5名で、曜日ごとに6名でチームを作っています。部屋ごとに異なる清掃手順、シンクや洗面台は材質によって洗剤を使い分けるなど、細かいことをひとつひとつ正確に覚えること、覚えてもらえるよう支援すること、従業員も利用者さんも役割をしっかりとこなしていくことが大切になります。

そしてこの清掃チームを支えるのが就労継続支援A型のSさんと生活介護の利用者さんと従業員です。掃除にはモップやクロス、タオルなどを使うので、沢山の洗濯物が出ます。それを毎日運んでいるのがSさん。毎日同じ時間にキャリアバッグを引



いて歩いていたら警察官に職務質問され、「掃除に使っている洗濯物です！」と答え中身を見せるといふ珍事もありましたが、その後も臆することなく業務を遂行しています。

届いた洗濯物を毎日洗って干してたたんでいるのが生活介護の利用者さんと従業員です。「働く」を主眼に全体の活動を組み立てています。洗濯ハンガーに平行にタオルを干すのも日に日に上手になってきました。両者共に、縁の下の力持ちです。

2020年度、コロニー中野の軽作業や飲食事業、物品販売事業は新型コロナウイルスの影響で大幅に売り上げを落としました。これは昨年度にとどまらず、現在も影響を受け

続けています。いつまで続くのか先が見えない中、この清掃事業は日々の作業提供に厚みを持たせ工賃アップにつながる明るい材料の一つです。まだまだ慣れないことが多く雑務に追われていますが、試行錯誤しながら事業所全体で頑張っています。

支援課 課長 深田雅美

### 中野区仲町就労支援事業所

#### 新たなスタート

2016年度より仲町就労支援事業所で非常勤として働かせていただいていたのですが、本年度より常勤として勤務することになりました石原と申します。私は2018年から余暇プログラムの企画・実行を担当させていただいております。

この仕事に従事して、これまで自分が楽しむことばかり考えてきた私が、周りの人に「楽しい」を感じてもらえること



を企画する喜びを学び、次はみんな  
でどんな楽しいことをしようかワクワク  
しながら考えるようになりました。

そうした中、昨年から新型コロナウイルス  
ウィルス感染症の影響で外出を控え  
るようになり、毎年恒例となりつつ  
あったB B Qやお花見に行けなくな  
りました。さて！室内でどんな面白  
いことをしようか、どんな美味しい  
ものを食べようか……。桜を見たかつ  
た会と称して感染対策を徹底しな  
がら焼肉をしたり、少しでも旅行に  
行った気になれるようご当地グルメ  
をお取り寄せしたり、この状況下で  
もできることを色々試しております。

感染対策のため、窮屈と感じるこ  
とも多い近頃のプログラムですが、  
参加してくださった利用者の方から  
「息抜きになった」「楽しかった」と  
声を掛けていただくことが大変励み  
になっております。

これからの  
目標は利用  
者・従業員の  
どちらからも  
この人がいる  
となんとなく  
安心すると思  
っているだけ  
ける存在にな



ることです。そのような先輩従業員  
も沢山おられるので少しでも近づき  
たいと考えます。

まだまだ経験不足ではございます  
が、今まで以上に楽しく責任を持っ  
て頑張りたいと思います。これから  
もご指導のほどよろしくお願い致し  
ます。

支援課 石原愛子

### コロニーもみじやま 支援センター

#### 生活介護余暇プログラム 「ハロー！うっきー」

うっきーさんはプロのパフォー  
マーです。コロニーもみじやま支援  
センターで生活介護事業がスタート  
して以来、月に2回、プログラムを  
行ってくれています。コンセプトは  
「心と身体を動かす事」。

『幸せなら手をたたこう！』の歌か  
らスタートです。手を叩いたり、声  
を出したり、お尻をふったり。音楽  
は早くなっていきますが利用者さん  
は慣れたもの。間違えたうっきーさ  
んや職員が突っ込まれます。  
次は体操。椅子を使って普段使わ  
ない筋肉を鍛えていきます。月に2

回とはいえ、利用者さんの身体の使  
い方は始めた頃と全然違います。こ  
れからも自分の身体の変化をみんな  
に楽しんでもらいたいです。

さあ！いよいよメインのゲーム！  
なにをやるかは毎回お楽しみ！バド  
ミントンやバドミントン等のスポー  
ツ系から巨大トランプを使った神経  
衰弱やババぬきのインドア系、職員  
がもぐら役のもぐらたたき、籠を背  
負って栗拾い、ダンボールパーカッ  
ションに豆つかみに歌クイズとなん  
でもアリ！だって何が心に響いてく  
れるかわからないから。

ある日の座布団まわし。小さめの  
座布団を指でまわす地味なゲームで



すが、みんな休憩時間も熱心に練習  
していました。何を楽しんでくれる  
のか、やってみないとわかりません  
(笑)

最後はダンス。曲目はさまざま！  
歌いたい人は歌って、踊りたい人は  
踊る！音楽を好きなように楽しんで  
くれたらオツケー！

性格も好みも得意な事も全然違う  
利用者さん。2時間を全員が一齐に  
楽しんでもらうのは至難の業。だけ  
ど、2時間のどこかで心が動いてほ  
しい。自分流に楽しんでもらって、  
全員に輝く瞬間を作る事。これを目  
標に今も準備の真っ只中です。

就労支援2課 山下亜純

## コロニー東村山

### 書籍等デジタル化事業について

2020年度、コロニー東村山の印刷事業は新型コロナウイルスの影響で大きく売上を落としました。先行きが見えず、今後の事業運営に悩んでいた中いただいたのが書籍等デジタル化事業のお話でした。コロニー東村山では、これをチャンスと捉え、前向きに取り組むことにしました。

書籍等デジタル化事業とは、シンプルに言うと、お客様からお預かりした書籍等をスキャンし、デジタルデータとして納品する事業です。エンドユーザーとなるお客様のところには、デジタル化を待っている書籍が膨大にあるのですが、現在この事業を行っているのは限られた数少ない業者のみとなっております。コロナ禍ということもあり、インターネット等で書籍の閲覧が可能なデジタル資料は、待ったなしに求められています。コロニー東村山では、これまで印刷事業のかたわら、隣接分野の仕事として紙媒体のデジタル化事業に取り組んでまいりました。特にここ数年では売上高を伸ばしてきており、初めてお話をいただいたときには、タイミン

グ的にとても良いと感じました。しかし、実際に走り出してみるとなかなか手ごわい内容で、必要な設備の選定や場所の確保、人員の採用など課題が山積み。これまでやってきたデジタル化事業とは「まったく」と言っているほど別のものでした。ここ数カ月は日夜この課題解決に取り組んでおります。

新しい事業の立ち上げには苦勞がつきものなのだ実感していますが、コロニー東村山は、これまで印刷事業で培ってきた技術力、ものを作ることを長く続けてきた経験があります。それを存分に活かせる事業だと思えます。このお話をいただいてから今日まで、中心となって尽力してくれている従業員・利用者の方たちは、本当によく頑張ってくれています。この事業を進めるために新しい仲間も迎え入れました。利用者さんに携わっていただくアイデアも考えています。まだ走り始めたばかりで先行きの読めないところはありますが、間違い



なく良い事業になると確信しています。今後の展開にご期待ください。

所長 坂本 崇

### トーコロ青葉ワークセンター

#### 放課後等デイサービス事業

##### 「アリーバ」卒業式

3月は卒業式シーズンです。放課後等デイサービス事業トーコロあおば就労サポートセンター「アリーバ」でも高校3年生は3月末で利用終了となるため、例年アリーバ卒業式を開催しています。令和2年度は7名が卒業となりました。卒業後は企業、就労移行支援事業所、就労継続支援B型事業所にそれぞれ進みました。7名中5名はアリーバが開所した年に中学1年生として入所された皆さんなので、1期生の最後の卒業式となりました。卒業式は卒業生の利用日の関係で3月9日と12日の2日間開催しました。一人一人に児童発達支援管理責任者の横山がお手紙を読み、記念品を渡しました。その後、卒業生の挨拶となりましたが、各々个性的で笑いあり、涙ありの挨拶でした。しかし高校3年生として立派な、そして



大きな成長を感じさせてくれる挨拶をしてくれました。

記念品は東大和市で運営されています「特定非営利活動法人生活支援センター1207 第2あたりえトントン」さんに作製していただいた、アリーバのロゴ入りのパスケースを贈らせていただきました。また後日、職員の思いが詰まった卒業アルバム、そして卒業式のDVDをお贈りしました。後日、ご家族様から「4月から入所した事業所へ通所する前に毎日アルバムとDVDを観てから通っています」とのお手紙をいただきました。



アリーバでは最長で中学・高校の6年間しか関わることが出来ませんが、こ





色づき始めてから茎を伸ばすため、水やりをこまめに行うことにより茎の成長を促すことができることを初めて知りました。肌寒さが残る中でも、色とりどりの花が風に揺れていると、蜜を求めてミツバチやモンシロチョウが花から花へ元気に飛び回っていました。利用者の皆さんと一緒に、日々成長していく草花や野菜を見守りながら写真撮影をし、栽培記録に残しています。

春から夏は、柔らかな風の温もりが感じられ、本館屋上が360度見渡せる見晴らしのよい展望デッキとなります。あの、東京スカイツリーを眺めながら、季節の移ろいを感じるこ

ができます。土に触れ、花や野菜を育てることにより精神的にも安らぎを得ることができ、とても癒されます。

春の草花が咲き終えたプランターには、朝顔、ミニトマト、ピーマン、なす、おくら等の夏野菜を栽培しています。利用者の皆さんと一緒に育てる野菜は、さぞ香りや味も格別となることでしょう。

これからも屋上を有効活用し、みんなで特別な癒し空間を作りたいと思います。

支援部支援2課 石下真弓

## 東京都大田福祉工場

### 施設整備事業が完了しました —二期工事竣工（駐車場整備 および倉庫棟増築）—

大田福祉工場の施設整備事業は、2010年より基本構想の検討が開始され、2014年に旧宿舍棟仮設事業所整備工事、2015年より旧工場棟解体工事、2017年より第一期工事である新工場棟建築工事、2018年8月より旧宿舍棟解体工事を経て、2020年末より着工した第二期工事である駐車場整備・倉

庫棟増築工事へと続き、2021年5月末、倉庫棟の竣工をもって全工期が完了しました。

昨年12月に着工した第二期工事ですが、当初は駐車場および植栽・庭園の整備として構想されておりまして。しかし、2018年に新工場棟が竣工し、34年ぶりに単一工場による操業になったことで、製品保管スペースの狭小化という現実に直面しました。その課題を改善するため当事業計画を練り直し、倉庫棟の増築が計画されました。コロナ禍により予定の工期より遅れましたが、本年5月末に無事竣工することができました。倉庫棟は60パレットを収納できる



広さがあり、庫内には柱を設けず、作業動線を確保しやすい設計となっています。また、一年中快適に搬入搬出作業が行えるよう空調設備・換気設備を兼ね備えています。大きくせり出した庇は、雨除けの役割を持ち、車椅子利用の方が駐車の際、濡れずに乗り降りできるようになります。

駐車場は、車椅子用を含め7台の駐車スペースを完備しました。植栽は「大田区まちづくり条例」に則り、高木27本をはじめ、中木、低木が多く植えられ、隣接する公園を合わせると緑豊かな憩いの場となりました。中には、桜の木をはじめ、モミジ、モミの木など季節を感じる木々も植えられています。

この度の竣工をもって大田福祉工場の施設整備事業は完了いたしますが、本事業にあたって大きなご支援を頂いた葛飾福祉工場の皆様、東京都福祉保健局、建築にあたった設計、



施工担当の方々に改めて心より御礼申し上げます。

財務企画課 課長 村越慶樹

## 福祉事業本部

### 生活の場、コロナの感染リスクと向き合って

生活の場であるグループホームや居宅介護事業では、この1年、様々な感染リスクに向き合ってきました。いくつかの対応事例をご報告したいと思います。

いつも元気なグループホーム入居者の方が高熱となり、受診、PCR検査を受けました。陽性なら同じユニットの入居者、宿直対応したスタッフ、付き添ったスタッフも濃厚接触者となるところでしたが、検査の結果は陰性で別の要因での発熱でした。

グループホーム入居者のお一人が発熱しました。感染の可能性から他の入居者も通所できなくなり、グループホームで、半日、待機していただくということがありました。結果的に検査の結果は陰性で症状もすぐに治まりました。

居宅介護事業では、家事、身体介護

の利用者さん宅に来ている他の事業所のヘルパーさんが陽性になり、利用者さん自身にも感染の可能性がある中でサービス提供を続ける場面がありました。その方は重度の障害があり複数の事業所からヘルパーの支援を受けていましたが、感染リスクがあるからと休んでしまう事業所もあり、その分、当事業所のサービス提供責任者が全て引き受けて、PCR検査の付添も含めて支援しました。

グループホーム入居者の通所先で陽性者が出たため、入居者ご本人もPCR検査をすることになり、結果がわかるまではトイレ以外居室から出ないで過ごしていただくという事態も2件ありました。食事事も居室でとっていただき、着替えの支援が必要な時はマスクにフェイスシールド、エプロンをして行うことにしました。

今までPCR検査を受けた件は、全て陰性でしたが、陰性とわかるまでの1〜2日は、皆で本当に心配しながら、陽性だった場合の対応に頭を巡らせながら検査結果を待っていました。日々、コロナ関連で心配な事態は続きます。早く、多くの人がワクチンを接種して安心して日常が送れる時が来ることを願っています。

本部長 加藤留美子

## 利用者支援マニュアル

### 「みんながサポーター」

#### を改訂しました



東京コロナーでは、2001年に利用者支援のためのマニュアル「みんながサポーター」を作成し、支援の現場で活用してきました。これまでも法改正や法人事業の拡充に合わせて見直しを行ってきましたが、このたび3度目の改訂として、放課後等デイサービス事業や生活介護事業における支援の考え方を追加しました。

同じ法人内であっても、事業内容に違いがあったり、従業員にも仕事に向き合う中でそれぞれの思いや信念があります。どの表現がふさわしいか、会議内だけでなく各事業所の専門職も加わって、活発な議論が行われました。一つにとりまとめることに苦労はありましたが、支援のあり方を考える大変有意義な機会であつたと感じています。

「みんながサポーター」というタイトルには、職種・立場に関わらずすべての従業員が支援者であるという思いが込められています。これからもこのマニュアルを活用し、さらに質の高い福祉サービスを提供できるように取り組んでいきたいと思えます。

サービス管理責任者会議

委員長 加藤留美子

初版から20年が経過し、社会の中での障害の捉え方、法人としての支援のあり方には、さまざまな面で変化があります。法人内の「サービス管理責任者会議」では、マニュアル全体を通じて、表現の方法、言葉の使い方など細部に渡って見直すことにしました。



# 2020(令和2)年度 事業報告

## 1. はじめに

本年度の事業は、新型コロナウイルスの影響が大きく、コロナ禍における社会の状況を勘案しつつ事業計画を修正し出来る限りの対策を立てて取り組みました。利用者個別の状況に配慮しながら在宅支援等に対応し、従業員には、在宅勤務や勤務時間の短縮を要請するなど、感染予防対策に全力を挙げて取り組みました。会議や研修等はオンラインにて開催し、厚生労働省や東京都で发出される通知等を周知、ならびに法人独自でも感染予防対策の徹底について通達等を発信し、拠点ごとの取り組みは適宜メーリングリスト等により情報共有に努め、クラスターの発生を防ぐことができました。新型コロナウイルスは時を追うごとに変異し、いまだに収束の見込みが立っていません。引き続き緊張感をもって感染予防に取り組むこととします。

国内では財政改革、社会保障改革、憲法改正への議論など様々な課題を抱えている中、世界規模に拡大したコロ

ナ禍の影響は計り知れない状況であり、わが国の経済情勢への影響も避けられない事態になっています。加えてこの数年、過去に経験のない自然災害も続いており、法人経営においては、広範囲にわたる経営危機管理が求められています。前年度の引継ぎ課題として、向こう5年間の中期事業計画を見直す年度に充てましたが、先行きが不透明なこの状況においては、策定時期を再度見直さざるを得ませんでした。また、2021年10月に迎える法人創立70年については、70周年記念事業委員会を設置し、コロナ禍で迎える周年事業に相応しい内容で検討を始めました。引き続き、利用者一人ひとりのニーズを把握し、適切な支援が提供できるよう全力で努めていきます。

## 2. 法人全体の経営状況ならびに方針に対する運営結果

本年度の事業運営は、コロナ禍の影響により様々な活動において一定の制

限はやむを得ない状況であり、事業結果は次のとおりとなりました。在籍者の推移では表2に示すとおり、総人数895名(前年度末894名)で1名増(非常勤嘱託医を含まない)、内障害者は623名(前年度末614名)で9名増、障害者比率は69.6%(前年度末68.7%)となりました。期中の就労移行者は、福祉サービス事業以外の移行者を加えて、56名を送り出しました。法人全体の在籍者は、契約者・登録者(表2：参考資料)1,714名を加えると2,609名の人員に責任を負う組織となりました。法人全体の事業活動計算書における当期剰余金は、184,081千円であり、全事業所で黒字を計上することができました。純資産は7,418,800千円、繰越残高は3,664,150千円となりました。

(1)経営の基本方針について  
・経営理念や倫理、社会的役割に伴うコンプライアンスやガバナンスを重

んじた法人運営に継続して取り組みました。

・福祉サービスの質的向上のために、第三者サービス評価機関の審査は、利用者の聞き取りなどリモートで実施し、苦情解決第三者委員制度の設置や広報誌やホームページ等による情報開示に取り組みました。  
・法改正や業務改善などに伴う法人の規程等を必要に応じて見直しました。

### (2)財務・資金管理について

・会計顧問の指導を受けながら、会計基準により精度の高い管理に努め、さらに外部会計監査人の指導を受け、また、監事による監査を3回受審し、会計管理に反映させました。  
・財務や資金管理について、法人本部は全体を把握し拠点間の窓口となつて調整に努めました。資金調達については、外部金融機関からの運転資金借り入れは例年通り実施し、コロナ禍の影響により資金繰りが厳しくなることを想定し1事業所の運転資

金として、独立行政法人福祉医療機構(WAM)より5年間無利子の借り入れを行いました。

(3)事業の継続について

・経営改善に視点を置き、持続可能な事業への体質改善を目指しました。とりわけ、新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、経営の維持に最大限努力しました。

・就労支援事業および障害福祉サービス事業のいずれも事業の安定を目指し、将来必要となる資金等も想定して事業計画を立てましたが、当面は体力維持を優先課題とせざるを得ない状況となりました。

(4)人材確保・育成について

・継続的に求人広告をホームページや求人媒体に掲載し、人材確保に努めました。

・経営や福祉の専門性を向上することを目的とした教育、研修を計画しましたが、従来のような集合形態がとれず、オンラインで可能な内容に再考して実施しました。継続して人材育成に取り組むとともに、人事考課制度を活用して上長との面談等を行うに努め、一人ひとりの活躍の場の充実に努めました。

(5)他の団体との協力連携について

・障害者福祉の向上のために、各省庁

ならびに、東京都、各区市自治体、全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、一般社団法人ゼンコロ、特定非営利活動法人日本障害者協議会、全国社会就労センター、日本セerpセンター、東京都セルプセンターなどにおいて、リモート参加を基本に積極的に役割を果たしました。また、従業員等が、対外的な立場において十分に役割発揮ができるよう(6)地域活動について

・拠点ごとの地域活動においては、各自治体との連携を深め情報交換を密にしなが、地域福祉の向上ならびにニーズに応じた障害者福祉の充実に努めました。また、地域の福祉関連ネットワークには積極的に参画し、重要な社会資源になり得ることを目指しました。

3. 各事業本部の事業実施概要

コロナ禍における活動制限を受ける中、各拠点では影響を最低限に抑える努力をし、就労支援事業の安定経営ならびに福祉支援の充実、職場環境づくりに取り組みました。

(1)法人本部(事務局)

新型コロナウイルス感染予防対策として、各省庁・東京都等の通知をタイ

ムリーに法人内に情報提供し、新型コロナウイルス関連の各種助成金の申請、法人統一の「新型コロナウイルス感染症(風邪様症状)対応手順書」の作成、感染防止対策徹底のための事業所ごとの利用者支援策、従業員の時短対応等の取りまとめなど、事業への影響を最小限に抑えるため前年度に引き続き対応しました。

法人全体および法人内の各事業が抱える諸課題への対応、事業運営における改善などにおいて役割を果たし、年間の教育研修計画の見直しや、法人全体の財務運用ならびに各拠点の事業運営に貢献し、総務・事務部門の連携により的確な情報提供・共有に努めました。プライバシーマークは2年毎5回目の更新審査を受審し無事認可されました。コロナもみじやま支援センターで当初計画していた医療連携事業について、医療行為の可能な資格を有する整骨院事業者の開業のめどが立ち、定款変更や中野区との協議変更契約を行い、賃貸借事業を収益事業として開始するための準備を行いました。

(2)福祉事業本部(グループホーム等、トコロ生活支援センター)

地域生活を支援する事業として、グループホーム、短期入所、居宅介護事業等を運営しました。個々の利用者のニーズに応じて支援し、新型コロナウイルス

イルスの感染防止対策を講じながら、事業運営の安定と支援の質の向上に努めました。これまでコロナ中野と連携して取り組んでいた特定相談支援事業については、本年度から当事業本部で行うこととし、また、前年度まで受託していた中野区障害者自立支援協議会の事務局業務は、コロナ中野に引き継ぎました。

(3)IT事業本部(トコロ情報処理センター(事業部、職能開発室、デジタルメディアセンター))

法人内では、IT技術等を介して法人内各事業所に関わり、ネットワーク委員会などをつうじて横断的に役割を果たしました。事業部では、コロナ禍により年間を通して厳しい年となりましたが、自治体受託業務において5自治体の業務を受託し、税務データも受注量は減少しましたが2自治体より受託し、データ入力部門でも新規業務を受注できたことで、なんとか乗り越えることができました。職能開発室では、すべての事業において対面ではなくオンラインでの実施を優先させました。テレワークとICT機器利用に対する世の中のニーズが高まり、3本柱である情報処理教育事業、在宅就労支援事業およびICT機器支援事業(東京都障害者IT地域支援センター事業)は、いずれも新しい課題を克服することに

忙しい1年となりました。そのようなか中、東京都重度身体障害者在宅パソコン講習事業は、例年同様に国家資格取得や、在宅就労希望者の背中を押すことができ、また、東京都障害者IT地域支援センターでは、十分な感染予防策をとった上で様々な研修を実施し、多くの自治体職員に受講していただきました。デジタルメディアセンターでは、関連業務を含めたトータル事業として、既存顧客の深耕ならびに新規顧客の獲得を目指しましたが、緊急事態宣言の発出や外出自粛等の影響で、受託規模の縮小や中止、あるいは、納期が延期されるなども発生したことで、売上高の確保は極めて厳しいものとなりました。

(4) 社会就労事業本部(コロナー中野、中野区仲町就労支援事業所、コロナーもみやま支援センター、コロナー東村山、トーコロ青葉ワークセンター)

コロナ禍の状況の中では、在宅支援、時短利用など一人ひとりの状況を把握しながら、あらゆる支援方法を駆使して対応しました。コロナー中野では、感染者が多発したエリアにありながら、感染予防対策に細心の注意を払い事業を継続できました。14名の定員に増やした生活介護事業ではほぼ定員が埋まりましたが、就労支援事業では前年比で

下回る厳しい結果となりました。コロナーもみやま支援センターでも、厳しい事業判断が求められる中、利用者や家族に伝えられるよう可能な限り通常運営に努めました。就労支援事業では、軽作業の発注が減少し、利用者増に見合った作業量の確保が困難な状況となつていきます。仲町就労支援事業所

は中野区と締結した基本協定、管理運営業務に関する令和2年度協定を遵守し、個々のニーズに対応した支援内容の充実に取り組みました。緊急事態宣言発出に伴う運営自粛下においても、障害の重度化や二次障害の誘因リスクが高まることを懸念し、可能な限りの通常運営としましたが、年間を通して1時間の時短運営を継続せざるを得ませんでした。また、中野区の指定管理期間満了を迎え、次期指定管理者公募に応募して、第3期指定管理事業者の決定を受けることができました。コロナー東村山では、基幹事業の印刷事業で売上高が激減する中、内製化や経費削減等に取り組み一定の結果を残すことができました。また、資金繰りが困難になることを想定し、独立行政法人福祉医療機構より5年間無利子の借入れを行いました。また、年度内に取り崩す必要はありませんでした。トーコロ青葉ワークセンターでは、3密回避や飛沫感染防止策を徹底し、当事業所の特

徴である各種日中プログラムは年度内の活動再開を見送りました。放課後等デイサービス「アリーバ」においては、学校の休校に伴い利用者数が大きく減少する時期がありました。

(5) 福祉工場事業本部(東京都葛飾福祉工場、東京都大田福祉工場)

東京都葛飾福祉工場では、多機能型就労支援事業所として、利用者の立場に立ち、一人ひとりが満足できるように利用目的に沿った支援に取り組みました。事業所内の行事は全て中止し、各種研修や部長会等も可能な限りWeb会議により実施しました。各事業で自粛する中、区民農園での農作業や金町工場本館屋上を利用して園芸作業などを開始しました。就労支援事業では、防災事業を除いて新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、各事業部門の工夫と努力により、一定の結果を残すことができました。立石工場移転建て替えプロジェクトを立ち上げ基本計画等に着手し、次年度は東京都、法人等と協議を重ねながら建て替え計画を進めていくこととします。

東京都大田福祉工場でも、印刷事業の売上高は大きく減少しましたが、変動費を抑えることで加工高の減少に歯止めをかけることができました。障害福祉サービス事業では、就労移行の就職活動への影響が大きく支援は困難を

極めました。従業員の人員不足解消には、就労継続支援A型事業の障害者採用に積極的に取り組みました。日中活動全般でメンタルリスクを中心に支援の困難性が目立ち、事業所の支援力が問われた1年でもありました。第二期の施設整備事業は、2019年9月より開始された東京都による旧宿舍棟・隣接通廊の建物解体、当該敷地の汚染土壌処理等が終了し、その後、解体跡地に当法人による駐車場整備ならびに、倉庫棟建築も加えて進めており、当初は本年度年夏に終了となる見込みでありましたが、2021年5月に完成する見込みです。



表1. 補助事業および補助金による施設設備等整備事業報告

(1) 補助事業 (順不同)

組織名	事業内容 (事業所名)	補助金
東京都	重度身体障害者在宅パソコン講習事業 (トーコロ情報処理センター職能開発室)	5, 888千円
三菱商事株式会社	重度身体障害者在宅パソコン講習事業 (トーコロ情報処理センター職能開発室)	5, 000千円
沖電気工業株式会社	重度身体障害者在宅パソコン講習事業 (トーコロ情報処理センター職能開発室)	800千円
公益財団法人 日本社会福祉弘済会	2020年度es-teamミーティング開催(研修事業) (東京都葛飾福祉工場)	136千円

(2) 補助金・寄付金による施設設備等整備 (順不同)

組織名	整備内容 (事業所名)	補助金
三菱商事株式会社	加湿器、飛沫防止パーテーション、赤外線温度計 (トーコロ情報処理センター事業部、職能開発室、デジタルメディアセンター)	900千円
社会福祉法人 東京都共同募金会	福祉テーブル (福祉事業本部 えはらハイツ I)	30千円
	入居者居室エアコン (福祉事業本部 えはらハイツ II)	40千円
	ベッド (福祉事業本部 中野江原短期入所)	30千円
	シュレッダー (コロニー中野)	170千円
	オートテーパー (トーコロ青葉ワークセンター)	100千円
池田輝子記念 精神障害者福祉基金	紙折り機 (トーコロ青葉ワークセンター)	770千円
ヤマト福祉財団 ステップアップ助成金	中型ディタッチャー (トーコロ青葉ワークセンター)	2, 200千円

表2. 在籍者の推移

		2020(令和2)年4月1日から 2021(令和3)年3月31日まで (単位:人)							
	前年度末 在籍者数	期中増減				主な減員理由			年度末 在籍者数
		増員		減員		自己都合	一般就労	疾病、 その他	
雇用就労者	94	6	(2)	7	(0)	7	0	0	93
	(79)	(6)	(2)	(3)	(0)	(3)	(0)	(0)	(82)
事業・施設の利用者	413	44	(0)	31	(1)	20	9	1	426
その他	107	18	(0)	21	(0)	2	2	17	104
障害がある在籍者(計)	614	68	(2)	59	(1)	29	11	18	623
	(79)	(6)	(2)	(3)	(0)	(3)	(0)	(0)	(82)
障害がない在籍者	280	19	(2)	27	(3)	21	0	3	272
合計	894	87	(4)	86	(4)	50	11	21	895
	(79)	(6)	(2)	(3)	(0)	(3)	(0)	(0)	(82)

- (注) 1) A型従業員については、障害がある雇用就労者に含めた上で下段の( )で再掲している。  
 2) 増員および減員の各右欄には法人内異動を( )で表記している。  
 3) 「その他」にはグループホーム利用者・在宅パソコン講習生・放課後等デイサービス利用者・定着支援利用者を含む。  
 4) 在籍者数には非常勤嘱託医を含まない。

表2. 参考資料; 「在籍者の推移」に含まれない人員状況

2020年度末及び2020年度中人数 (単位:人)				
	登録・契約障害者	一般就職者	トライアル 雇用者等	一般就職者累計
福祉事業本部 (短期入所、移動支援、居宅介護等)	241	—	—	
中野障害者計画相談支援室 「ころまっぷ」	*1 116	—	—	
IT事業本部 (在宅教育修了生、職業紹介登録者等)	20	*2 2	0	
東村山市障害者就労支援室	610	47	0	
コロニー障害者計画相談支援室 「ふきのとう」	*1 208	—	—	
アートビリティ	*3 200	—	—	
東京都葛飾福祉工場 障害者計画相談支援室	*1 46	—	—	
コロニーもみじやま支援センター (短期入所、日中一時支援)	208	—	—	
もみじやま障害者計画相談室	*1 65	—	—	
計	1,714	49	0	

- \*1 計画相談契約者数  
 \*2 在宅教育修了者からの一般雇用2人、職業紹介事業からの一般雇用0人  
 \*3 契約者以外の作品利用が行われた数も含めているため概数としている。  
 \*4 在籍者以外で2007.4~2021.3に当法人で就職をサポートした人の累計

表 3. 障害・非障害者及び男女別総括表（人）

事業所名	①身体障害者	②知的障害者	③精神障害者	④その他障害者	⑤非障害者	①+②+③+④+⑤ 総人員(人)	男女別人員(人)		2021年3月31日現在 平均年齢・在籍	
							男	女	年齢(才)	在籍(年)
法人本部	0	0	0	0	5	5	2	3	50.8	17.2
福祉事業本部	4	41	1	0	17	63	44	19	49.0	9.5
トーコロ情報処理センター事業部	6	0	1	0	13	20	3	17	45.4	15.4
トーコロ情報処理センター職能開発室 (含:事務局)	10	0	0	0	3	13	8	5	32.9	5.2
デジタルメディアセンター	1	0	0	0	4	5	4	1	48.0	13.9
コロニー中野	23	38	20	0	23	104	69	35	47.0	9.6
中野区仲町就労支援事業所	0	0	35	0	6	41	28	13	49.7	4.9
コロニー東村山	20	49	8	0	55	132	96	36	44.2	13.2
トーコロ青葉ワークセンター	15	57	27	28	28	155	103	52	37.7	10.0
コロニーもみじやま支援センター	6	67	3	2	24	102	54	48	40.0	3.2
東京都葛飾福祉工場	31	24	13	0	58	126	78	48	44.4	13.5
東京都大田福祉工場	37	30	26	0	36	129	100	29	46.7	9.1
計	153	306	134	30	272	895	589	306	43.8	9.9

表 4-1. 就労移行支援事業および就労継続支援B型事業

定員・現員ならびに工賃と就労移行の状況（2020年4月～2021年3月）

事業所名	サービス名	定員 (人)	現員 (人)	平均工賃 (円/1人1ヶ月当)	一般企業等へ の移行(人)
コロニー中野	就労移行	10	2.4	10,991	0
	就労継続B型	50	58.0	26,336	0
中野区仲町就労支援事業所	就労移行	6	0.0	-	0
	就労継続B型	21	26.6	15,209	1
コロニー東村山	就労移行	6	2.2	23,808	0
	就労継続B型	59	60.1	32,523	0
トーコロ青葉ワークセンター	就労移行	6	1.8	14,167	2
	就労継続B型	89	100.8	22,147	0
コロニーもみじやま支援センター	就労移行	10	0.0	-	0
	就労継続B型	60	54.1	14,474	0
東京都大田福祉工場	就労移行	10	5.7	48,806	3
	就労継続B型	40	34.6	48,433	0
東京都葛飾福祉工場	就労移行	6	3.3	15,644	1
	就労継続B型	28	33.0	20,803	0
サービス別計	就労移行	54	15.3	28,151	6
	就労継続B型	347	367.2	25,229	1
総計(平均)		401	382.5	25,346	7

\*現員は年間をとおしての平均現員。

\*平均工賃は賞与、交通費等、本人に支払った全ての金額を工賃と見なし、その平均額を算出。

\*「一般企業等への移行」欄にはA型雇用への移行を含む。

表4-2. 就労継続支援A型事業

定員・現員ならびに賃金の状況(2020年4月～2021年3月)

事業所名	定員(人)	現員(人)	平均賃金 (円/1人1ヶ月当)
コロニー中野	10	8.0	191,055
コロニー東村山	15	11.5	192,563
東京都大田福祉工場	30	30.8	286,695
東京都葛飾福祉工場	40	29.3	324,503
総計(平均)	95	79.6	277,414

\*平均賃金には、各種手当、賞与を含む(交通費は除く)。

表4-3. 生活介護事業

定員・現員ならびに工賃の状況(2020年4月～2021年3月)

事業所名	定員(人)	現員(人)	平均工賃 (円/1人1ヶ月当)
コロニー中野	14	12.5	11,712
コロニーもみじやま支援センター	30	13.8	5,809
総計(平均)	44	26.3	8,620

\*平均工賃は賞与、交通費等、本人に支払った全ての金額を工賃と見なし、その平均額を算出。

表5. 苦情申出状況(2020年4月～2021年3月)

(単位:件)

事業所	申出件数	申出内訳				解決状況			
		対事業所	対従業員	利用者間	その他	事業所内 解決	(第三者委 員関与)	未解決	その他
法人本部	0	0	0	0	0	(0)	0	0	
福祉事業本部	0	0	0	0	0	(0)	0	0	
IT事業本部(三事業)	0	0	0	0	0	(0)	0	0	
コロニー中野	1	0	1	0	0	1	(0)	0	
中野区仲町就労支援事業所	0	0	0	0	0	(0)	0	0	
コロニー東村山	0	0	0	0	0	(0)	0	0	
トーコロ青葉ワークセンター	0	0	0	0	0	(0)	0	0	
コロニーもみじやま支援センター	0	0	0	0	0	(0)	0	0	
東京都大田福祉工場	0	0	0	0	0	(0)	0	0	
東京都葛飾福祉工場	0	0	0	0	0	(0)	0	0	
合計	1	0	1	0	0	1	(0)	0	

法人単位資金収支計算書  
 (自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	5,082,578,000	4,727,951,231	354,626,769
		障害福祉サービス等事業収入	1,249,098,341	1,178,880,142	70,218,199
		その他の事業収入	225,050,406	247,965,437	-22,915,031
		借入金利息補助金収入	155,900	155,805	95
		経常経費寄附金収入	9,886,000	10,712,546	-826,546
		受取利息配当金収入	1,610,460	1,241,682	368,778
		その他の収入	38,839,893	28,608,502	10,231,391
	事業活動収入計(1)	6,607,219,000	6,195,515,345	411,703,655	
	支出	人件費支出	936,970,097	867,519,462	69,450,635
		事業費支出	107,096,144	89,214,656	17,881,488
		事務費支出	242,005,485	180,084,469	61,921,016
		就労支援事業支出	4,877,606,766	4,542,537,329	335,069,437
		その他の支出	182,833,943	174,802,163	8,031,780
		利用者負担軽減額	7,798,572	8,013,782	-215,210
支払利息支出		6,766,652	6,593,474	173,178	
その他の支出	5,857,000	6,457,725	-600,725		
流動資産評価損等による資金減少額	65,456	65,456			
事業活動支出計(2)	6,367,000,115	5,875,288,516	491,711,599		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		240,218,885	320,226,829	-80,007,944	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	1,023,000	4,107,550	-3,084,550
		施設整備等寄附金収入		352,589	-352,589
		その他の施設整備等による収入	177,000	3,750,533	-3,573,533
	施設整備等収入計(4)	1,200,000	8,210,672	-7,010,672	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	35,196,000	35,196,000	
		固定資産取得支出	164,144,000	116,116,470	48,027,530
ファイナンス・リース債務の返済支出		422,395	261,835	160,560	
その他の施設整備等による支出	11,133,977	11,168,374	-34,397		
施設整備等支出計(5)	210,896,372	162,742,679	48,153,693		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-209,696,372	-154,532,007	-55,164,365	
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入	30,000,000	30,000,000	
		積立資産取崩収入	88,120,000	87,143,234	976,766
		その他の活動による収入		924,360	-924,360
	その他の活動による収入計(7)	118,120,000	118,067,594	52,406	
	支出	積立資産支出	108,296,592	99,148,376	9,148,216
		その他の活動による支出	21,276,478	21,837,255	-560,777
その他の活動支出計(8)	129,573,070	120,985,631	8,587,439		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-11,453,070	-2,918,037	-8,535,033	
予備費支出(10)		139,246,904	—	70,958,564	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-51,889,121	162,776,785	-214,665,906	
前期末支払資金残高(12)		2,524,500,372	2,524,500,372		
当期末支払資金残高(11)+(12)		2,472,611,251	2,687,277,157	-214,665,906	

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

法人単位事業活動計算書  
 （自）2020年 4月 1日（至）2021年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	4,727,951,231	4,906,925,073	-178,973,842
	障害福祉サービス等事業収益	1,178,880,142	1,178,300,903	579,239
	その他の事業収益	247,965,437	253,353,421	-5,387,984
	経常経費寄附金収益	10,712,546	11,191,374	-478,828
	サービス活動収益計(1)	6,165,509,356	6,349,770,771	-184,261,415
	費用			
	人件費	860,064,799	855,881,464	4,183,335
	事業費	89,214,656	101,031,966	-11,817,310
	事務費	180,412,229	188,426,774	-8,014,545
就労支援事業費用	4,634,790,121	4,804,392,880	-169,602,759	
その他の費用	177,950,824	237,853,738	-59,902,914	
利用者負担軽減額	8,013,782	7,263,338	750,444	
減価償却費	162,095,127	162,732,944	-637,817	
国庫補助金等特別積立金取崩額	-122,736,515	-122,482,258	-254,257	
徴収不能額	65,456		65,456	
徴収不能引当金繰入		806,227	-806,227	
サービス活動費用計(2)	5,989,870,479	6,235,907,073	-246,036,594	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	175,638,877	113,863,698	61,775,179	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	155,805	259,675	-103,870
	受取利息配当金収益	1,241,682	1,369,513	-127,831
	その他のサービス活動外収益	38,010,906	31,511,658	6,499,248
	サービス活動外収益計(4)	39,408,393	33,140,846	6,267,547
	費用			
	支払利息	6,593,474	6,832,735	-239,261
	その他のサービス活動外費用	6,507,725	5,062,260	1,445,465
	サービス活動外費用計(5)	13,101,199	11,894,995	1,206,204
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	26,307,194	21,245,851	5,061,343
経常増減差額(7)=(3)+(6)	201,946,071	135,109,549	66,836,522	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	4,107,550	10,787,860	-6,680,310
	施設整備等寄附金収益	352,589	304,810	47,779
	固定資産売却益		925	-925
	その他の特別収益	722,456	2,055,819	-1,333,363
	特別収益計(8)	5,182,595	13,149,414	-7,966,819
	費用			
	固定資産売却損・処分損	476,533	951,513	-474,980
	国庫補助金等特別積立金積立額	3,184,550	10,644,000	-7,459,450
	その他の特別損失	19,386,478	5,481,227	13,905,251
特別費用計(9)	23,047,561	17,076,740	5,970,821	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-17,864,966	-3,927,326	-13,937,640	
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	184,081,105	131,182,223	52,898,882	
法人税、住民税及び事業税(12)				
法人税等調整額(13)				
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	184,081,105	131,182,223	52,898,882	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	3,481,569,278	3,393,488,179	88,081,099
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	3,665,650,383	3,524,670,402	140,979,981
	基本金取崩額(17)			
	その他の積立金取崩額(18)	70,000,000	36,000,000	34,000,000
	その他の積立金積立額(19)	71,500,000	79,101,124	-7,601,124
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	3,664,150,383	3,481,569,278	182,581,105

第三号第一様式 (第二十七条第四項関係)

法人単位貸借対照表  
2021年 3月31日現在

	資 産 の 部		負 債 の 部		増 減	(単位:円)
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末		
流動資産	4,508,900,283	4,427,251,063	1,759,068,027	1,810,204,374	-51,136,347	
現金預金	2,665,911,435	2,513,235,977	300,000,000	300,000,000	-68,143,187	
事業未収金	1,384,631,527	1,447,200,025	1,085,204,604	1,153,347,791	8,954,776	
未収金	9,609,658	11,261,643	27,055,437	18,100,661	-460,000	
未収補助金	8,057,877	6,311,430	34,736,000	35,196,000	261,835	
受取手形	125,749,027	128,425,702	8,411,507	9,926,160	-1,514,653	
貯蔵品	2,532,759	2,919,972	48,137,107	63,434,882	-15,297,775	
商品・製品	245,678,122	259,086,017	37,338,419	20,917,611	16,420,808	
仕掛品	16,031,532	16,177,559	10,464,044	16,643,807	-6,179,763	
原材料	23,351,001	24,450,422	16,865,418	16,925,224	-59,806	
立替金	7,153,619	4,452,035	178,542,738	159,587,227	18,955,511	
前払金	9,130,000	43,206	12,312,753	15,863,176	-3,550,423	
前払費用	12,688,113	15,534,378	832,010,677	854,530,851	-22,520,174	
短期貸付金	740,771	740,771	366,890,000	401,626,000	-34,736,000	
徴収不能引当金△	2,365,158	2,588,074	30,000,000	30,000,000	30,000,000	
固定資産	5,500,979,090	5,605,399,658	423,347,171	435,193,861	-11,846,690	
基本財産	3,277,989,843	3,407,510,731	3,484,374	3,484,374		
土地	812,128,671	812,128,671	8,289,132	14,226,616	-5,937,484	
建物	3,581,490,770	3,581,490,770	2,591,078,704	2,664,735,225	-73,656,521	
建物減価償却累計額△	1,115,629,598	986,108,710				
その他の固定資産	2,222,989,247	2,197,888,927				
土地	298,950,200	298,950,200	300,915,620	300,915,620		
建物	730,696,931	716,150,931	2,503,510,842	2,636,706,774	-133,195,932	
構築物	136,089,651	136,089,651	2,503,510,842	2,636,706,774	-133,195,932	
機械及び装置	861,921,826	787,485,216	950,223,824	948,723,824	1,500,000	
車輻運搬具	73,265,151	73,274,458	144,500,000	113,000,000	31,500,000	
器具及び備品	291,177,888	278,500,868	20,000,000	50,000,000	-30,000,000	
建設仮勘定	4,666,346	4,666,346	785,723,824	785,723,824		
建物減価償却累計額△	435,485,478	411,669,471	3,664,150,383	3,481,569,278	182,581,105	
構築物減価償却累計額△	64,342,325	57,171,146	3,664,150,383	3,481,569,278	182,581,105	
機械及び装置減価償却累計額△	725,994,638	701,969,822	184,081,105	131,182,223	52,898,882	
車輻運搬具減価償却累計額△	65,084,243	59,833,486				
器具及び備品減価償却累計額△	193,623,644	175,521,110				
権利	16,500	19,500				
ソフトウエア	44,056,243	58,245,294				
退職給付引当資産	306,962,286	296,467,271				
その他の積立資産	950,223,824	948,723,824				
差入保証金	2,323,430	2,350,430				
長期前払費用	4,337,799	1,296,286				
その他の固定資産	3,516,842	7,287,375				
徴収不能引当金△	685,342	787,342				
資産の部合計	10,009,879,373	10,032,650,721	7,418,800,669	7,367,915,496	50,885,173	
負債及び純資産の部合計			10,009,879,373	10,032,650,721	-22,771,348	
負債の部			純資産の部			
流動負債			基本金			
短期借入金			300,915,620	300,915,620		
長期借入金			2,503,510,842	2,636,706,774		
退職給付引当金			2,503,510,842	2,636,706,774		
役員退職慰労引当金			950,223,824	948,723,824		
長期未払金			144,500,000	113,000,000		
負債の部合計			2,591,078,704	2,664,735,225		
純資産の部						
基本金			300,915,620	300,915,620		
国庫補助金等特別積立金			2,503,510,842	2,636,706,774		
その他の積立金			950,223,824	948,723,824		
施設整備等積立金			20,000,000	50,000,000		
移行時特別積立金			785,723,824	785,723,824		
次期繰越活動増減差額			3,664,150,383	3,481,569,278		
次期繰越活動増減差額			3,664,150,383	3,481,569,278		
(うち当期活動増減差額)			184,081,105	131,182,223		
負債及び純資産の部合計			7,418,800,669	7,367,915,496	50,885,173	
負債及び純資産の部合計			10,009,879,373	10,032,650,721	-22,771,348	

コロニーとうきょう Vol.171

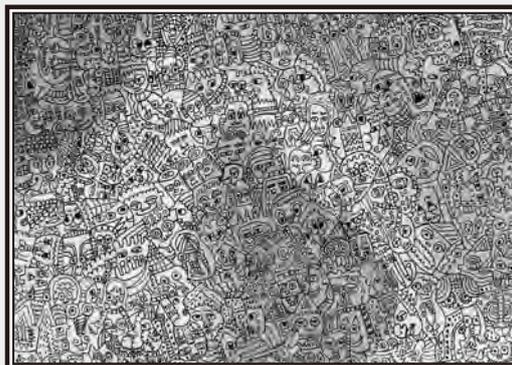
別紙4

財 産 目 録  
2021年 3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金	—	—	運転資金等	—	—	2,665,911,435
事業未収金	—	—	就労支援事業及び障害福祉サービス事業	—	—	1,384,631,527
未収金	—	—	費用本人負担分等	—	—	9,609,658
未収補助金	—	—	施設整備補助金等	—	—	8,057,877
受取手形	—	—	就労支援事業	—	—	125,749,027
貯蔵品	—	—	【控除対象】切手等	—	—	2,485,925
			【控除非対象】公益事業	—	—	46,834
			小計	—	—	2,532,759
商品・製品	—	—	社会福祉事業による物品販売業及び印刷業等	—	—	245,678,122
仕掛品	—	—	社会福祉事業による印刷業等	—	—	16,031,532
原材料	—	—	社会福祉事業による印刷業等	—	—	23,351,001
立替金	—	—	共同生活援助利用者等	—	—	7,153,619
前払金	—	—	工事代金 着工時支払分	—	—	9,130,000
前払費用	—	—	保険料等	—	—	12,688,113
短期貸付金	—	—	—	—	—	740,771
徴収不能引当金△	—	—	社会福祉事業に係る得意先等	—	—	2,365,158
			流動資産合計	—	—	4,508,900,283
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
土地	(福祉事業本部) 東久留米市氷川台2-31-22 (コロニー中野) 中野区江原町2-6-7 (コロニー東村山) 東村山市秋津町2-22-9 (青葉ワークセンター) 東村山市青葉町2-39-10	— — — —	社会福祉事業であるグループホームに使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している	— — — —	— — — —	110,701,020 147,823,591 398,000,000 155,604,060
			小計	—	—	812,128,671
建物	(福祉事業本部) 東久留米市氷川台2-31-22 (コロニー中野) 中野区江原町2-6-7 (コロニー東村山) 東村山市秋津町2-22-9 (コロニー東村山) 東村山市秋津町2-22-9 (コロニー東村山) 東村山市秋津町2-24-8 (青葉ワークセンター) 東村山市青葉町2-39-10 (もみじやま支援センター) 中野区中野5-3-32 (東京都葛飾福祉工場) 葛飾区金町2-8-20 (東京都葛飾福祉工場) 葛飾区金町2-9-5 (東京都大田福祉工場) 大田区大森西2-22-26	2002 2017 1974 1983 1989 2002 2017 2017 2017 2019	社会福祉事業であるグループホームに使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している 社会福祉事業である就労支援事業に使用している	66,059,195 481,286,351 133,107,474 91,300,000 192,950,780 616,488,760 652,723,007 403,930,843 311,428,351 632,216,009	33,224,036 62,571,555 133,107,473 79,521,936 86,268,278 420,447,590 98,565,696 70,982,792 67,217,375 67,222,867	32,835,159 418,714,796 147,823,591 11,778,064 106,682,502 196,041,170 554,157,811 332,948,051 247,710,976 564,993,142
			小計	—	—	2,465,861,172
			基本財産合計	—	—	3,277,989,843
<b>(2) その他の固定資産</b>						
土地	埼玉県八潮市2-1031-1	—	社会福祉事業である就労支援事業に使用している	—	—	298,950,200
建物	(福祉事業本部) 東久留米市氷川台2-31-22他 (コロニー中野) 中野区江原町2-6-7 (コロニー東村山) 東村山市秋津町2-22-9他 (青葉ワークセンター) 東村山市青葉町2-39-10他 (もみじやま支援センター) 中野区中野5-3-32 (東京都葛飾福祉工場) 葛飾区金町2-8-20他 (東京都大田福祉工場) 大田区大森西2-22-26他 (トコロ情報処理センター・事業部) (トコロ情報処理センターデジタルメディアセンター)	— — — — — — — —	【控除対象】社会福祉事業に使用している建物付属設備 【控除対象】社会福祉事業に使用している建物付属設備 【控除対象】社会福祉事業に使用している建物付属設備 【控除対象】社会福祉事業に使用している建物付属設備 【控除対象】社会福祉事業に使用している建物付属設備 【控除対象】社会福祉事業に使用している建物付属設備 【控除対象】社会福祉事業に使用している建物付属設備 【控除非対象】公益事業に使用している建物付属設備 【控除非対象】公益事業に使用している建物付属設備	140,775,460 23,306,802 227,118,988 25,049,254 54,053,220 251,828,067 5,198,364 344,776 3,021,900	49,510,503 3,222,986 216,794,461 16,912,499 7,919,079 138,307,785 479,435 344,774 1,993,956	91,264,957 20,083,816 10,324,527 8,136,755 46,134,241 113,520,282 4,718,929 2 1,027,944
			小計	—	—	295,211,453
構築物	—	—	社会福祉事業に使用するアスファルト舗装他	136,089,651	64,342,325	71,747,326
機械及び装置	—	—	社会福祉事業に使用する印刷機械等	861,921,826	725,994,638	135,927,188
車両運搬具	—	—	【控除対象】社会福祉事業に使用するリフトバス等 【控除非対象】公益事業	72,154,493 1,110,658	63,973,586 1,110,657	8,180,907 1
			小計	—	—	8,180,908
器具及び備品	—	—	【控除対象】社会福祉事業に使用する作業機械等 【控除非対象】公益事業に使用	271,237,875 19,940,013	179,672,025 13,951,619	91,565,850 5,988,394
			小計	—	—	97,554,244
建設仮勘定	—	—	施設建設の為 システム構築	3,266,346 1,400,000	— —	3,266,346 1,400,000
			小計	—	—	4,666,346
権利	—	—	社会福祉事業に使用する電話加入権等	—	—	16,500
ソフトウェア	—	—	社会福祉事業に使用する販売システム等	—	—	44,056,243
退職給付引当資産	—	—	退職給付引当金	—	—	306,962,286
その他の積立資産	—	—	社会福祉事業に使用する修繕費及び施設整備等	—	—	950,223,824
差入保証金	—	—	共同生活援助等	—	—	2,323,430
長期前払費用	—	—	火災保険料、セレクトリフトバス費、等	—	—	4,337,799
その他の固定資産	—	—	【控除対象】社会福祉事業に使用する敷金等 【控除非対象】公益事業	— —	— —	3,513,842 3,000
			小計	—	—	3,516,842
徴収不能引当金△	—	—	社会福祉事業に係る得意先等	—	—	685,342
			その他の固定資産合計	—	—	2,222,989,247
			固定資産合計	—	—	5,500,979,090
			資産合計	—	—	10,009,879,373
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
短期運営資金借入金	みずほ銀行他	—	—	—	—	300,000,000
事業未払金	就労支援事業他	—	—	—	—	1,085,204,604
その他の未払金	工事未払い金他	—	—	—	—	27,055,437
1年以内返済予定設備資金借入金	—	—	—	—	—	34,736,000
1年以内支払予定長期未払金	割賦代金他	—	—	—	—	8,411,507
未払費用	人件費他	—	—	—	—	48,137,107
預り金	消費税中間納付分、就労支援事業、他	—	—	—	—	37,338,419
職員預り金	社会保険料他	—	—	—	—	10,464,044
前受金	就労支援事業他	—	—	—	—	16,865,418
賞与引当金	—	—	—	—	—	178,542,738
未払税金等	消費税	—	—	—	—	12,312,753
			流動負債合計	—	—	1,759,068,027
<b>2 固定負債</b>						
設備資金借入金	三菱UFJ銀行他	—	—	—	—	366,890,000
長期運営資金借入金	福祉医療機構	—	—	—	—	30,000,000
退職給付引当金	—	—	—	—	—	423,347,171
役員退職慰労引当金	—	—	—	—	—	3,484,374
長期未払金	障害福祉サービス等	—	—	—	—	8,289,132
			固定負債合計	—	—	832,010,677
			負債合計	—	—	2,591,078,704
			差引純資産	—	—	7,418,800,669

# アートビリティ Artbility ギャラリー 46



## 『タイヨウに住む宇宙人』

カミジョウ ミカ (かみじょう みか) さん

自らを「車イス生活をしながら絵描きをしています」とYouTubeで発信しているとおり、カミジョウ ミカさんは絵を描くことを生業とする、まさにプロ意識の高い作家さんです。

定期的に地元のギャラリーで個展を開催するだけでなく、ご自身の作品をグッズ展開するべく商品開発も行い、地元や全国のカミジョウさんを応援したいというカフェやショップで販売しています。また、20年前からIT技術を学び、ホームページを作成し、地元長野から全国に・世界に自身の作品や活動を情報発信し続けています。

そんな精力的に活躍するカミジョウ ミカさんの原動力は、19歳の時の入院生活中に“寝たきりでも好きな絵は描けたこと”と“その作品を観て喜んでくれた人がいたことによる気持ちよさの成功体験”だということです。二十数年間描くことを続けていられるのも観て喜んでくれる人がいるからだと言います。

今回表紙に使用させていただいた『タイヨウに住む宇宙人』について尋ねると、

「私は、地球以外の恒星や惑星にも宇宙人がいると信じているんです」そう語るカミジョウさん。描いているのは、自然界への疑問や、眠っている間に見た夢であることも多いとか。

「見る夢って、怖かったりグロテスクだったりしますよね。でも、それを伝えたいという想いもありますよね。だから、ユーモアを交えたり、自分の中に落とし込んでから観る人に伝わりやすいようにアレンジしたりして、表現したもの、それが、私の空想画・抽象画たちです」

コロナ禍により、個展の開催が中止になってしまうというような不便もありますが、それでも楽しく描き、発信し続けているカミジョウさんにお電話でお話を伺えました。

### 【作家プロフィール】

1976年生まれ。長野県在住。19才の時に先天性疾患の為、入院。その病院で主治医や看護師、理学療法士の顔をデフォルメして描き始める。  
現在では、自宅でアクリルガッシュ・オイルパステルなどを使い、空想画・抽象画を描いている。

- 1998年 「98アートパラリンピック長野」街かど賞受賞。
- 2001年 「働く障害者フォト・絵画コンテスト」絵画部門 日本障害者雇用促進協会会長賞 特別賞受賞。
- 2013年 アートビリティ登録作家となる。  
「産経はばたけアート公募展2013、2014」優秀賞 2年連続受賞。
- 2014年 「第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会 国際障がい者アート展」最優秀賞受賞。

- 2015年 「第15回全国障害者芸術・文化祭がごしま大会 全国障害者美術・文芸作品展」美術部門 テーマ部門 優秀賞受賞。
- 2016年 「ザウメキアート展」入選。
- 2017年 「SOMPO パラリンアートカップ2017」グランプリ (最優秀作品賞)受賞。
- 2018年 「SOMPOパラリンアートカップ2018」日本ラグビーフットボール選手会賞受賞。
- 2019年 「第11回日本新薬こども文学賞」絵画部門 大人の部 優秀賞受賞。  
「産経はばたけアート公募展2019」大賞受賞。
- 2020年 「広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス2020」審査員賞受賞。
- 2021年 「第1回アートパラ深川大賞」優秀賞受賞。  
「第6回 Art to You ! 東北障がい者芸術全国公募展」企業賞・富士ゼロックス宮城賞受賞。

■アートビリティ…障害者の所得支援を続けてきた社会福祉法人東京コロニーが、アートの分野で力を発揮する人材を後押しし、その才能を収入に結び付けるために始めた事業です。約200名の作家による約5,500点の作品が揃ったアートライブラリーとなり、年間約400点の作品が使用されています。

## ご寄附のお礼

(2020年12月～2021年5月 総額 2,273千円)

下記の皆様より、当法人に対してご寄附を賜りました。ご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

2020年12月 渡 秀二 様・渡 恵美子 様	2020年12月 沖電気工業(株) OKI愛の募金事務局 様
2020年12月 小池 誠 様	2020年12月 日立キャピタル株式会社 様
2020年12月 マルイグループユニオン福祉会 様	

◎文中の写真はご本人の了解を得て掲載しています。

# 東京コロニーのホームページ



東京コロニー メインページ  
<https://www.tocolo.or.jp/>



コロニー東村山  
<https://www.colony.gr.jp/colonyhigashimurayama/>



コロニー印刷  
<https://www.colony.gr.jp/>



デジタル メディアセンター  
<https://www.tocolo.or.jp/dmc/>



アートビリティ  
<https://www.artbility.com/index.html>



東京都大田福祉工場  
<https://www.ootafukushikojo.org/>



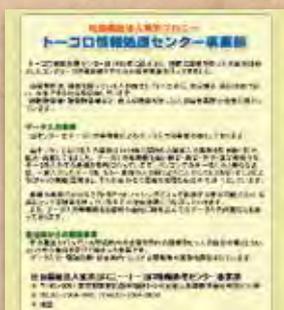
トーコロ情報処理センター職能開発室  
<https://www.tocolo.or.jp/syokunou/>



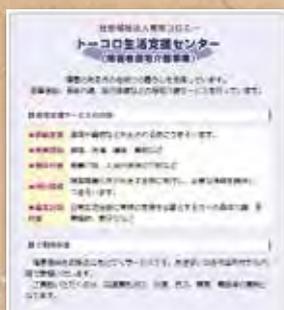
トーコロ青葉ワークセンター  
<https://www.colony.gr.jp/aoba/>



東京都葛飾福祉工場  
<https://www.fireman21.net/>



トーコロ情報処理センター事業部  
<https://www.tocolo.or.jp/joho/>



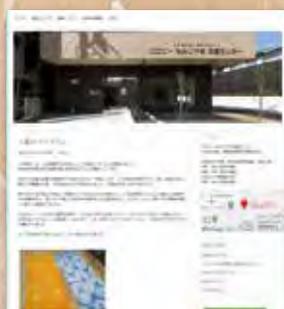
トーコロ生活支援センター  
<https://www.tocolo.or.jp/seikatsu/index.html>



グループホーム  
<https://www.tocolo.or.jp/grouphome/index.html>



中野区仲町就労支援事業所  
<https://colony.gr.jp/nakatyoushienn/>



コロニーもみじやま支援センター  
<https://colony.gr.jp/momijiyama/>



コロニー中野  
<https://colony.gr.jp/colonymakano/>